

平成29年度 年間授業計画

都立竹早高等学校

教科	公民	科目	現代社会(必履修)	学年	1
担当者	女屋 隆充・福崎 雄二			単位数	2
使用教科書	高校 現代社会 新訂版 実教出版				
使用教材	ズームアップ 現代社会資料(実教出版)高校現代社会新訂版 演習ノート(実教出版)用語集 現代社会+政治・経済(清水書院)				
教科・科目の指導目標	学習指導要領における現代社会の指導目標を踏まえ、社会的な事象への興味・関心を喚起するとともに、進学を希望する本校生徒の実態に即した指導を行う。現代社会の学習内容全般にわたり、大学入試センター試験に対応する基礎的な学力の定着を目指す。高等学校における地歴・公民科の導入の科目として、他教科との連携も常に意識し、自学自習できる課題等を工夫して指導にあたる。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5日	1学期中間考査	私たちの生きる社会 私たちの生きる社会 現代に生きる青年 個人の尊重と法の支配 現代の民主政治と政治参加の意義	地球環境問題、資源・エネルギー問題に関して理解する。 科学技術の発展、高度情報社会について理解する。 青年期の特徴を理解する。 青年期の課題を主体的に考察する。 民主政治の基本原則について、基本事項を理解する。 各国の政治体制の相違点をまとめることができる。 日本国憲法の基本原則について、民主政治の基本原則と関連づけて理解できる。	12
6月5日	1学期期末考査	国際政治の動向と日本の役割 現代の経済社会と私たちの生活	国際社会のしくみと特質の基本事項を理解する。 国際連合や国際平和の意義などについて関心を持つ。 国際社会における日本の役割について、主体的に考察できる。 国際社会の今日的な動きや課題について、理解できる。 今日の経済の基本的なしくみについて理解する。 経済主体の役割について、基本事項を理解できる。 市場経済のしくみを具体的に考えることができる。 政府の役割と租税の意義について関心を持つ。 経済のしくみにおける金融機関の働きについて理解できる。 経済成長と景気変動との関わりについて考えることができる。	12
7月5日	2学期中間考査	現代の経済社会と私たちの生活 国際経済の動向と日本の役割	戦後の日本経済のあゆみについて、年代の順に具体的にまとめることができる。 日本の雇用と労働問題について理解することができる。 社会保障制度の意義と課題について、主体的に考察できる。 国際経済のしくみについて、基本事項を理解できる。 国際収支と外国為替のしくみについて、関心を持てる。 戦後の国際経済の動向と現在の様子について、基本事項を理解できる。 今日的な世界経済の課題を、時事問題を含めて整理してまとめることができる。	14
10月5日	2学期期末考査	現代の経済社会と私たちの生活 国際経済の動向と日本の役割	戦後の日本経済のあゆみについて、年代の順に具体的にまとめることができる。 日本の雇用と労働問題について理解することができる。 社会保障制度の意義と課題について、主体的に考察できる。 国際経済のしくみについて、基本事項を理解できる。 国際収支と外国為替のしくみについて、関心を持てる。 戦後の国際経済の動向と現在の様子について、基本事項を理解できる。 今日的な世界経済の課題を、時事問題を含めて整理してまとめることができる。	14
12月5日	学年末考査	国際経済の動向と日本の役割 現代に生きる倫理 1年間のまとめ	途上国の経済と地球的課題について、問題点を整理しまとめることができる。 哲学や宗教の始まりや意義について、主体的に考察できる。 西洋的な考え方や東洋的なものの見方などについて、関心を持つことができる。 1年間の学習を総括し、学習のまとめを行う。 1年間の学習事項の中から、テーマ学習などを行う。	18

評価の観点・方法	出欠状況、授業に取り組む意欲と態度、定期考査の状況、課題の提出状況と成果等を総合的に評価する。
----------	---